

社会福祉法人 杏の郷

法人本部・障害者支援施設 顕真学院・グループホーム蓮華寮

令和3年度事業報告書

令和4年4月1日

I. 法人本部

1. 理事会・評議員会・関係会議

日時	会議名	議題内容
令和3年4月21日	評議員選任・解任委員会	(1)次期評議員の選任について
令和3年5月27日	第一回 法人理事会	(1)令和2年度 事業報告 (2)令和2年度 会計決算・監事監査報告 (3)定款施行細則一部変更について (4)次期役員(理事・監事)候補者推薦案について (5)次期評議員選任・解任委員について (6)定時評議員会開催について (7)中庭の修繕工事について
令和3年6月16日	定時評議員会	(1)令和2年度 事業報告 (2)令和2年度 会計決算・監査監査報告 (3)次期役員(理事・監事)選任について
令和3年6月16日	第二回 法人理事会	(1)理事長の選任について
令和3年10月27日	第三回 法人理事会	(1)理事長の職務執行状況報告 (2)令和3年度 第一次補正予算(案)
令和4年3月25日	第四回 法人理事会	(1)令和3年度 第二次補正予算(案) (2)令和4年度 事業計画(案) (3)令和4年度 予算(案) (4)その他の重要な職員の選任について (5)就業規則変更について (6)理事長の職務執行状況報告

2. その他経過報告

なし

Ⅱ. 施設利用状況 【令和4年3月31日現在】

1. 入所利用者数

[単位：人]

施設入所支援 顕真学院

区分	定員	現員
男	15	14
女	15	15
計	30	29

グループホーム 蓮華寮

区分	定員	現員
女	5	4
計	5	4

令和3年8月12日に女性入所利用者が亡くなられ、同年9月1日に女性利用者が入所。令和3年10月1日に男性が入所となりましたが、同年10月2日に男性入所利用者が亡くなったため、男性利用者1名空きがある状態となっている。蓮華寮についても、引き続き1名の空きがある。

2. 日中活動利用者数

生活介護

定員	区分	現員
40	男	15
	女	24
	計	39

3. 障害程度区分

[単位：人]

a. 顕真学院（施設入所支援）

区分	1	2	3	4	5	6	合計
利用者数	0	0	0	0	6	23	29

b. 顕真学院（生活介護）

区分	1	2	3	4	5	6	合計
利用者数	0	0	0	0	10	29	39

c. グループホーム 蓮華寮

区分	1	2	3	4	5	6	合計
利用者数	0	0	0	0	3	1	4

4. 性別・年齢別区分

a. 顕真学院（施設入所支援）

区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～65	合計	平均年齢
男	0	1	1	7	5	14	44.8
女	0	0	2	9	4	15	46.7
合計	0	1	3	16	9	29	45.8

b. 顕真学院（生活介護）

区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～65	合 計	平均年齢
男	0	2	1	7	5	15	43.7
女	0	1	4	14	5	24	44.2
合計	0	3	5	21	10	39	44.0

c. グループホーム蓮華寮

区分	～19	20～29	30～39	40～49	50～65	合 計	平均年齢
女	0	0	0	3	1	4	51.0

5. 短期入所利用者数（年間延べ人数）

[単位：人]

月別	区 分	利 用 数	月別	区 分	利 用 数	月別	区 分	利 用 数
4	宿泊	50	8	宿泊	31	12	宿泊	29
5	宿泊	31	9	宿泊	23	1	宿泊	31
6	宿泊	56	10	宿泊	0	2	宿泊	28
7	宿泊	56	11	宿泊	4	3	宿泊	31
						合 計	370（前年比+214）	

・4月から10月まで2名、12月から3月まで1名の長期利用があり、延べ利用者数が増えた。

6. タイムケア利用者（年間延べ時間）

[単位：時間]

月別	単 位	延べ時間	月別	単 位	延べ時間	月別	単 位	延べ時間
4	時間	20.5	8	時間	2	12	時間	7.5
5	時間	34	9	時間	10	1	時間	3.5
6	時間	15	10	時間	10	2	時間	6.5
7	時間	20.5	11	時間	11.5	3	時間	2
						合 計	143（前年比-136.5）	

・タイムケアを利用されていた方が短期入所を利用するようになり、年間利用時間が減少した。

Ⅲ. 職 員 数

a. 顕真学院

[単位：人]

区分	施設長	事務	サービス 管理責任者	支 援 員	看護師	栄養士	調理員	洗濯	合 計
男	1	1	1	5					8
女		2		9 [1] (4)	1	1	3 (1)	(2)	16 [1] (7)
合計	1	3	1	14 [1] (4)	1	1	3 (1)	(2)	24 [1] (7)

※ [] 内は兼務 () 内は非常勤

・令和4年1月31日付けで支援員1名、3月31日付けで支援員2名退職となりました。

b. 蓮華寮

[単位：人]

区分	管理者	サービス 管理責任者	支 援 員	世話人	合 計
女	[1]	1	(1)	1	3
合計	[1]	1	(1)	1	3

※ [] 内は顕真学院と兼務 () 内はサービス管理責任者と兼務

IV. 利用者支援について

1. 生活介護(平均障害程度区分 5.7) 日中活動について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各グループレクリエーションは中止しています。通所利用者や家族、学院職員が濃厚接触者となったことを受けて、令和4年1月14日から1月31日、同年2月5日から2月13日まで通所事業を停止しました。

①「おひさま(最重度・重症心身障害)」グループ

常時健康面に配慮が必要で、介助、介護、看護、保護、医療との連携が中心となっており、『個別に合わせた活動の提供』という目標を掲げ活動を行っています。個人の状態によってどんな取り組みが必要なのか検討し、身体機能低下の緩和を目的としたリハビリ、ストレッチ、下肢のむくみを緩和させるための足浴やリンパマッサージ、歩行機能維持のための歩行運動を実施しています。利用者が楽しめる活動としては、生活棟の広い空間を活用し、少人数でボールプール、風船遊び、中庭を利用した日光浴、栄養士と協力しグループでの昼食作りを実施しました。

清潔面にも配慮し、入所者や希望する通所者にも特殊浴槽を使用した入浴を行いました。

②「ひまわり(重度・一部中度障害)」グループ

活動拠点を明照ホールとし、活動場所と生活する場を分けることで生活リズムの安定、心の安定を図っています。具体的な活動内容ですが、散歩を中心にカレンダー・ウエス作り、行事で使用する装飾の作成などをし、個別の活動では利用者の方の興味がある事を取り入れて活動をしました。作業班では野菜の栽培、収穫を行っています。

後期には、既存のグループメンバーの見直しを実施しています。しかし、個々の能力・興味のある取り組みに幅があり、メンバーが同じ取り組みを日々行うという事に対する疑問点などもあるため、次年度への反省点として活かしていきたいと思えます。

2. 施設入所支援(平均障害程度区分 5.8) 生活部の活動について

利用者一人一人に関して各担当職員と支援する中での問題点や改善点を話し合い、生活の中での変化を捉え様々なアプローチを考えて実施してきました。年齢と共に機能低下が以前よりも顕著に現れ始め、本人に合った支援を行うことに重点を置いています。

個別支援に関しては個別担当者だけでなく、サービス管理責任者、医務、調理などの各部署との連携を行い、支援員会議などで取り組みを周知することで利用者の状態に適切に対応できるようにしています。

施設内の空間や外部環境にも着目し、草取りや害虫対策、被服といった利用者を取りまく生活環境の整備を年間計画に沿って対応しました。感染症の影響もあり帰省がなく外出レクリエーションも中止となる中で施設での過ごし方が全てとなっているため、健康面に留意し安心安全な生活の提供をしていきます。

3. 年間行事について

月 日	行事内容	場所	参加者数
令和3年 4月 8日(木)	お花見行事	本覚寺前駐車場・明照ホール	利用者30名
令和3年 5月 4日(火)	バーベキュー	中庭・各食堂	利用者29名
令和3年 7月 15日(火)	ひまわりグループ 学院内行事	中庭	利用者25名
令和3年 9月 30日(木)	いろどり祭	中庭	利用者38名
令和3年 11月 23日(火)	おひさまグループ 学院内行事	明照ホール	利用者11名
令和3年 12月 15日(水)	年末感謝祭	明照ホール	利用者37名
令和3年 12月 21日(火)	忘年会	生活棟・ものぐさ棟	利用者29名
令和4年 1月 13日(木)	新年会	明照ホール・ものぐさ棟	利用者36名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためレクリエーションなど外出を伴う行事は中止となり、上記学院内行事に関しても規模を縮小した形で実施しました。

4. 保 健

①令和3年度 年間計画（年間を通し、新型コロナウイルス感染防止対策を行っています。）

月	検診・その他学院内業務
4月	血圧・体重測定, 保険証の確認 胸部レントゲン(4/15)
5月	内科検診, 血圧・体重測定, 風呂水質検査, 血液・尿・心電図・大腸がん検診(5/26)
6月	血圧・体重測定, 食中毒予防対策(手洗い・消毒の徹底)
7月	内科検診, 血圧・体重測定, 熱中症予防月間(~9月), 新型コロナワクチン接種(7/29)
8月	血圧・体重測定, 新型コロナワクチン接種(8/5・8/19・8/26)
9月	内科検診, 血圧・体重測定
10月	血圧・体重測定, 感冒予防対策(~2月)
11月	インフルエンザ予防接種(11/5), 血圧・体重測定 インフルエンザ予防対策(~2月), 水質検査, 夜勤従事者採血(11/10)
12月	血圧・体重測定, 検診・通院報告書整理, 歯科大検診(12/14), ノロウイルス対策(~4月)
1月	内科検診, 血圧・体重測定
2月	血圧・体重測定, 次年度生活習慣病検診計画策定, 次年度年間計画策定, 婦人科健診(2/17)
3月	血圧・体重測定, 内科検診, 年間通院報告, 次年度医務計画策定, 保健記録作成 新型コロナワクチン接種(3/14・3/28)

②受診回数 ※神経内科は近況報告も含む

[単位：回]

神経内科	253	整形外科	1	歯科	84	脳神経外科	5
血液内科	0	リハビリ	70	耳鼻科	11	専門小児科	6
精神科	12	リハビリ診察	26	小児 精神科	1	乳腺外来 甲状腺外来	5
内科	37	外科	14	循環器科	3	腎臓内科	0
眼科	2	皮膚科	7	婦人科	8	消化器内科	0
泌尿器科	0						

5. 調 理

月	内 容
4 月	お花見行事⇒焼き肉、おでん、焼き鳥、野菜炒め、おにぎり2種類、ジュース おやつ作り⇒いちごのパフェ
5 月	バーベキュー⇒焼き鳥、焼き肉（牛・豚）、焼き野菜、おにぎり2種、ジュース 端午の節句⇒たけのこ御飯・すまし汁・柏餅 おやつ作り⇒ニラせんべい
6 月	おやつ作り⇒ホットケーキ（あんずシロップ煮）
7 月	学院内行事⇒カレー・サラダ（利用者と作る）・スイカ お楽しみ喫茶⇒アイス4種と飲み物3種から選択
8 月	（納涼祭が9月に変更となる）
9 月	おやつ作り⇒おはぎ（お彼岸） お楽しみ献立⇒テイクアウトメニューの中から選択 いんどり祭⇒焼き肉（ジンギスカン・豚肉・牛肉）、野菜炒め、おにぎり、ジュース
10月	おやつ作り⇒ホットケーキ
11月	お楽しみ喫茶⇒デザート2種、飲み物4種より選択 おやつ作り⇒学院で採れたサツマイモを使ったスイートポテト
12月	年末感謝祭⇒フライドチキン・サンドイッチ・サラダ・ピラフ・学院で採れた野菜の汁物・ジュース。おやつにケーキ・飲み物 忘年会⇒握り寿司、ローストビーフ、サツマイモのきんとん、グラタン、エビチリ、大根サラダ、野菜鍋（ラーメン）、ゼリー、ジュース 大晦日⇒年越しそば・焼き魚・茶碗蒸し等
1 月	お正月⇒おせち料理 七草⇒七草粥 新年会⇒小豆御飯・折り詰め料理・すまし汁・ジュース
2 月	お楽しみ喫茶⇒ケーキ2種・飲み物各3種より選択（バレンタインデー） 節分⇒恵方巻（太巻き） 昼食作り⇒ピザトースト2種（ひまわり）、ピザトースト・サンドウィッチ（おひさま） おやつ作り⇒プリンアラモード
3 月	ひな祭り⇒ちらし寿司・すまし汁・桜餅・甘酒 お楽しみ献立⇒テイクアウトメニューの中から選択 おやつ作り⇒おはぎ（お彼岸）

6. 防 災

月	内 容
4 月	学院内自衛消防組織・各非常事態時の役割分担などの変更及び避難体制見直し 各災害に対する知識や計画の確認・職員への周知徹底（4月16日支援員会議）
5 月	防火設備の自主点検 洪水・土砂災害時の緊急連絡網（手動）の試行
6 月	集中豪雨および水害等に対する注意・防災訓練について（6月9日支援員会議） 学院内総合防災避難訓練の実施（6月17日）
7 月	火気における取り扱い注意と後始末における注意 防火・防災器具の点検 防火設備の自主点検 蓮華寮夜間防災訓練（7月20日）

8月	花火の取り扱いおよび後始末に関する注意 台風災害における注意 各防災計画の再確認（8月9日職員全体会議）
9月	防災設備機能の点検 総合防災訓練について地域との打ち合わせ（9月下旬）
10月	夜間総合防災訓練の実施（10月7日⇒中止）緊急連絡網（自動通報装置）の試行 避難体制の見直し・職員の役割の確認
11月	防災についての机上訓練・防災設備の自主点検（11月4日支援員会議） 秋の全国火災予防運動防災指導 蓮華寮日中防災訓練（11月17日）
12月	暖房器具の点検と取扱いにおける注意点指導、土砂災害・洪水に関する防災計画確認 （12月26日職員全体会議） 防火設備器具の清掃と点検
1月	防災における意識向上のための指導 防災設備の自主点検
2月	防災対策の見直し（2月4日支援員会議） 防災設備の自主点検
3月	春の全国火災予防運動実施 新年度防災計画の立案（3月3日支援員会議）

7. 支援関係会議

月	内 容
4月	支援員会議（16日）、行事係会議（19日）、調理会議（22日）、ケア会議（24日）
5月	活動検討会議（12日）、ケア会議（13日,18日）、リーダー会議（31日）
6月	ケア会議（3日,16日,21日,23日）、支援員会議（9日）、行事係会議（22日）、 調理会議（24日）
7月	食生活委員会（6日）、身体拘束・虐待防止委員会（6日）、行事係会議（8日）、 リーダー会議（12日）、活動検討会議（15日）、ケア会議（18日,28日,31日）
8月	職員全体会議（9日）、ケア会議（18日）、身体拘束・虐待防止委員会（25日）、 感染症対策会議（26日）
9月	身体拘束・虐待防止委員会（2日）、関係者会議（2日）、行事係会議（4日）、 ケア会議（5日,7日,13日,16日,22日,27日）活動検討会議（7日,8日,9日） 支援員会議（22日）
10月	行事係会議（8日）、ケア会議（15日、29日）
11月	活動検討会議（2日,24日）、支援員会議（4日）、行事係会議（4日）、事故防止会議 （10日）、ケア会議（15日,18日）身体拘束・虐待防止委員会（19日）、調理会議（26日）
12月	行事係会議（2日,27日）、食生活委員会（8日）、リーダー会議（8日）、 音楽会実行委員会（15日）、ケア会議（20日）、個別支援会議（23日）、 職員全体会議（26日）
1月	活動検討会議（7日,9日）行事係会議（15日）、身体拘束・虐待防止委員会（20日）、 ケア会議（24日）
2月	リーダー会議（3日,14日）、支援員会議（4日）、生活部会議（9日,22日）、 活動検討会議（11日）、行事係会議（20日）、調理会議（25日）、ケア会議（25日,28日）
3月	支援員会議（3日）、生活部会議（7日）、食生活委員会（10日）、職員全体会議（21日）、 ケア会議（22日）、緊急支援員会議（24日）

8. 事故報告関係

場 所	内 容	事故後の対応
明照 ホール	ホールから利用者が一人で学院 へ戻ってしまい、事務より連絡 を受けた職員が迎えに行く。同 日、ホールより出て一人で歩い ている別の利用者を、散歩へ出 ていた職員が発見した。	利用者は散歩へ行きたい様子で、そのまま散歩メンバー と合流している。各所へ報告し、活動部会議で話し合い を行う。当日の活動責任者からホール内処遇の職員に散 歩に出るメンバーなどの情報が伝達できておらず、活動 状況が把握できていなかった。責任者がメンバーの動き を把握し、他のメンバーにも共有するよう再確認する。

居室	朝方トイレに起きて来られた際、右目下まぶたにアザが出来ている事に気が付いた。夜間や前日の夕方からも特に変わった動きもなく、起床時にご自分でベッドを降り居室から出てきていた。	関係者で集まり話し合いを行う。不安定時などは多動となり持っている物で頭や顔を叩くような行動をとることもあるが、前日より安定されていたのでどこかでぶつけたとは考えづらい。しかし、安定されている時でも体を急に曲げることがあり、膝や補装具にぶつけてしまう可能性もあった。居室空間の見直しや、対応の仕方も検討する。
男子 重度棟	消灯前トイレ誘導をした後、別の利用者の居室に職員と寄った。職員が居室内の利用者の様子を伺っている間に、連れていた利用者が居室前の火災報知機を押してしまった。	棟内処遇者で協力し、報知機の停止や消防などへの連絡を行った。火災報知機に興味を示している方であったので、処遇できていなかった職員側に原因があった。特性を再認識して掌握することを話し合い、全体へ周知を行った。
デイルーム	利用者の背中を叩いている方がいて、職員が背後から腹部に手を回して抱きかかえ、離して制止させようとした。しかし、抱えた腕から体がすり抜けてしまい、尻もちをついた後床に後頭部を打ってしまった。	驚いた様子だったが、職員が謝ると泣いて居室に戻ってしまった。居室に行くと様子を見ると、すでにいつもの表情に戻っており確認した所外傷はなかった。夜勤者、看護師、家族などに報告。他害に対して早急な対応が必要だったが、職員側で危機回避ができていなかった。大きな事故につながる恐れもあるため、他害をしてしまう方への対応や処遇の見直しを行った。
デイルーム	実習で処遇に入っていた学生の頭部を、後ろから利用者がコップのようなもので叩いてしまった。その日の実習後も痛みがあり、状況を聞いた学校より問い合わせがあった。	学校より連絡を受け、学生と当日処遇していた職員にその時の状況を確認する。学生については、受診を行い結果が出るまでは実習を中断することとなった。受診結果は異常なく、学生と学校とで相談し中断した実習を後日再開している。
デイルーム	朝食開始後、食事に集中していない様子はあったが、情緒の乱れはなかったため支援員が介助をするなどして提供。食事が終わる頃、急に大声を出して頭を叩く自傷があり、右手に持っていた箸で額を突いてしまう。	額の生え際辺りに2ヶ所点のような傷ができ、処置をしている。デイルームは二名体制で処遇するようになっていたが、当日の職員体制と落ち着いていたこともあり一人体制で処遇をしていた。出来る限りご本人とはマンツーマンで対応をしていくのが望ましく、突発的な行為に対しては未然に防ぐのは難しいが、行動観察と個別での対応を継続していく。
居室	男子夜勤者が棟外の見回りをしている間、女子夜勤者は女子棟にてトイレ介助を行っていた。男子夜勤者が棟内に戻ると、男子トイレ前に利用者が起きてきており、怪我をしてしまったと報告があった。	確認すると、右まぶたに裂傷が見られ出血があった。ご本人への聞き取りで、ベッドから車イスへの移乗時に転倒してしまったとのこと。看護師に報告し応急処置を行い、翌朝看護師が処置を行った。ご本人の意思で動く方のため、一人部屋にして居室空間を広くした。また、手すりの設置や転倒時の怪我防止の為に居室内を整備した。

明照 ホール	活動開始直後、玄関やトイレへ向かう人の動きや、外部業者の出入りなど動きがある中で、利用者が外に出ていると近隣の方より明照ホール内の支援員に声がかかった。	支援員が向かうと、業者と近隣の方と一緒に利用者がいた。業者の方が作業している間はホールの中に居たことを確認しているため、その方を追う形で外に出てしまった様子。活動開始直後の動きが落ち着いていない中で起きたため、ご本人の特性を再確認し、発生状況を全体に周知した。
-----------	--	--

9. 苦情・要望関係

内 容 ・ 結 果
なし

10. ヒヤリ・ハット関係

場 所	内 容
居 室	利用者の方を居室へ誘導した際、床に敷かれたラグで足を滑らせてしまった。支援員も一緒に足を滑らせてしまうが、ベッドの縁に掴まり利用者を支えたため双方に怪我は無い。居室を変更した所で整頓が不十分であったため、発生状況を個別担当者へ報告している。

11. グループホーム 蓮華寮（共同生活援助）

○生活について

前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により当初の事業計画から変更し、状況によって柔軟に対応しながら生活支援を行ってきました。感染症対策はマスク着用、検温・うがい・手洗い・アルコール消毒の徹底、こまめな換気、蓮華寮内の消毒などできることを引き続き行っています。ワクチン接種も行われ副反応が見られた方もいましたが、顕真学院と協力体制を取り経過観察を行いました。

帰省・面会も制限しているため、月に一度はご家族に電話連絡をして近況報告を行っています。

行事に関しても外出を伴うものについては変更し、蓮華寮内で行える内容を考えて実施しました。その際には利用者の方に調理の手伝いをしてもらい、食べる楽しみの他に参加する楽しみも味わってもらえるように企画をしました。

年齢に伴う機能低下が進み個別に支援が必要な場面が増えているため、バックアップ施設でもある顕真学院に利用者の生活状況や医療面、相談内容や支援経過など随時報告し、相互で情報を共有する体制をとっています。

○行事について ※利用者の誕生日月に誕生日会（おやつ作り）

日 時	行 事 名	内 容
令和 3年 4月10日(土)	お花見行事	焼肉で新年度の英気を養う。
令和 3年 7月27日(火)	餃子パーティー	餃子の皮を使った料理を皆で作って、楽しむ。
令和 3年10月20日(水)	ハロウィン お好み焼きパーティー	お好み焼きを皆で作って食べ、ハロウィンの雰囲気を楽しむ。
令和 3年12月20日(月)	忘年会	一年に感謝し、食事会をする。
令和 4年 1月19日(水)	新年会	新年を祝い、皆で楽しく食事をする。

○防災訓練について

令和 3年 7月20日(火)	夜間防災訓練 19:00～
令和 3年11月17日(水)	日中防災訓練 13:30～

○事故報告

場 所	内 容	事故後の対応
蓮華寮	朝食後、落ち着いている状態であることを確認してから、トイレに入る事を伝えてその場を離れた。トイレから出ようとした際「ドン」という大きな音がし、急いで寮内を確認すると洗面所前で利用者が転倒していた。	両膝を床に付き上体を上げた状態で、頭部からの出血が見られた。一人での対応が難しいと判断し、顕真学院へ応援を要請。二名で止血等の処置を行う。看護師と管理者へも連絡し、緊急受診を行っている。脚の状態から転倒するリスクが高く、職員一人体制の処遇のため、その場を離れる際の対応が十分ではなかった。医療や学院との連携を含め、支援の仕方を再検討している。

○苦情・要望関係

内 容	結 果
なし	

○会議関係

ケア会議	令和 3年 4月30日(金) (電話にて)
蓮華寮内会議	令和 3年 8月 9日(月), 12月26日(日)

○通院関係について

定期的な通院（内服薬の処方も含め）⇒歯科・内科等
風邪等の急な疾病による通院 ※看護師と連携して行いました。

12. 日中活動・地域交流棟・家族会館「明照ホール」使用状況

- 明照ホール 平日利用⇒顕真学院の日中活動 休日利用⇒利用受け入れなし
- 宿泊施設 施設実習生の宿泊先として利用

13. 施設整備（契約・購入物品）

- ・令和3年8月から9月にかけて、顕真学院中庭の改修工事を実施。